



文化芸術委員会の活動

歴史文化資料室の維持管理

文化芸術委員会の今年度の主な活動の一つが、「菩提寺まちづくりセンター」内にある歴史文化資料室の維持・管理です。

今年度の資料室の企画展は「菩提寺と周辺の古墳」というテーマで行いました。

この展示にあたり、菩提寺周辺、正福寺地区から南桜(野洲市)までの古墳の調査を行いました。この調査で菩提寺に7基の古墳を確認することが出来ました。これと同時に菩提寺山の中で「矢穴石」を発見することが出来、京都新聞にも紹介されました。



菩提寺山散策路の整備

二年前に、菩提寺山の散策路を整備し、多くの人に登ってもらえるようにしました。

しかし、2018年の台風21号の影響で、散策路を含む、多くの樹木が倒壊し、登山路が塞がれてしまい、復旧作業を行ってきました。それ以来、何と



か通れるようになり、今年の元旦の初日の出ハイキングではこの復旧したコースを歩いて下山する事ができました。元旦は絶好の天気にも恵まれ、写真のような素晴らしい日の出を見ることが出来ました。

土曜日事業(歴史ワークショップ)

毎年、両小学校の児童を対象に土曜日事業を行っておりますが、その中で文化芸術委員会として、今年も歴史ワークショップを開催しました。菩提寺検定用として、地元の菩提寺に関する問題集を学年別に作成しました。子どもたちは、歴史文化資料室を見て回りながらその問題に取り組み、全員が認定証を頂き、地域の歴史を学ぶ事ができました。



諸先輩が語る昭和前半の菩提寺

前年度に「湖南省地域活性化先進モデル事業」として、「諸先輩が語る昭和前半の菩提寺」という冊子を作成しましたが、まだまだ話を聞かせて頂きたい方が多くおられるので、第二弾を作成しました。

その第二弾は1月15日に完成し、菩提寺まちづくりセンターに置き、希望者に渡せるようにしています。読んでみたいと思われる方は是非手にとってご覧下さい。

歴史に興味のある方の参加を歓迎します。

音楽や絵画などの芸術に興味のある方の参加も大歓迎です。



地域活性化委員会の活動 ～竹林整備～

地域活性化委員会では、平成22年度より菩提寺区所有の竹林を借り、地域の皆様が憩える場所作りを目指し、少しずつ整備を進めています。平成24年には、湖南市の地域活性化推進事業（きらめき湖南）の事業に採択され、「BB大作戦」として、滋賀県立大学と菩提寺まちづくり協議会との共同で竹林の整備事業を行ってきました。

「BB大作戦」の事業終了後は、地域活性化委員会で引き継ぎ、毎年、滋賀県立大学の環境学部の学生さんたちと竹林整備を行っています。今年は10月から12月にかけて、延べ9日間整備を行った内容を紹介します。

平成30年度は、台風の上陸が多く竹林にあるバンブーハウスなどに被害が有り、つぶれた施設の撤去と修理を行う為、7月に学生さんと竹林の整備計画の打合せを行い、竹林整備を進めました。

昨年までは、廃材の竹を処分する為に、粉砕機をリースしていましたが、10月に菩提寺まちづくり協議会で粉砕機を購入、11月23日～25日、12月15～16日の5日間、ボランティアの皆さんと滋賀県立大学の学生さん、委員会のメンバーで廃竹を粉砕し、粉砕したチップを竹林の遊歩道に撒いて、歩き易くしました。



バンブーハウス2号の床板補修



見晴らし台

また12月6日と12月10日には、県立大の学生による甲西北中学校1年生を対象にした環境学習の実習（廃竹の処理など）を竹林で行って頂きました。

なお、11月9日（金）付けの読売新聞「しが県民情報」に、バンブーハウスが掲載されました。（まちづくりセンターに掲載しています。）

地域活性化委員会のメンバーも高齢化しています。竹林整備にご協力いただけるボランティアの募集を行っています。
お問い合わせは、菩提寺まちづくりセンター。



今回の竹林整備こられた県立大学の学生さんたち



修理中のスクリーン
広場のデッキとブランコ



新しく作った竹旋門



粉砕機による竹チップの作成



委員会メンバーで竹垣の修理中



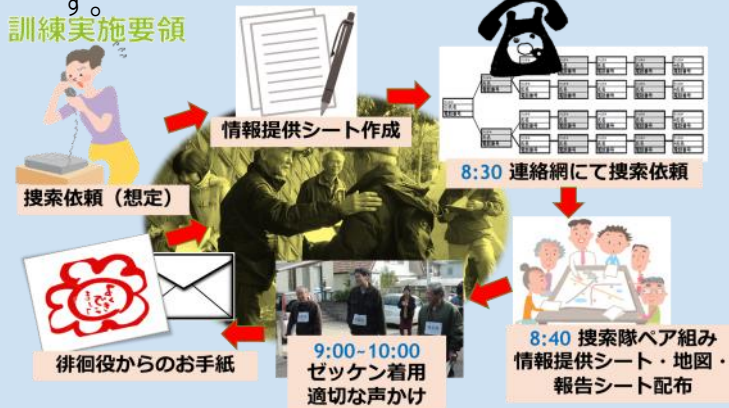
福祉安全委員会の活動

私たち福祉安全委員会は、地域でお住まいの方々が“安心して暮らせるまち”をめざして活動しています。今年度の活動の一部を紹介します。

高齢者が安心して暮らせるための体制づくり

4年前から認知症に対する理解を深める研修会と「独り歩きで行方が分からなくなった認知症高齢者を発見し、保護する訓練」を継続して取り組んできました。

今年度は7区で捜索隊を結成し、11月25日に訓練を実施し、各区での訓練終了後に全員が集まり、実際に訓練に参加した方々から、気づきや今後に向けた意見発表をいただきました。また、今回は湖南省がモデル事業として取り組んでいる「みまもりタグを活用して位置情報を把握するシステム」を捜索訓練も取り入れました。訓練概要を下図に示します。



訓練参加者からは、「声掛けのタイミングやどのような対話をすればよいのか悩んだが、今後もこの訓練は継続して実施していくことが必要」との意見を多く頂きました。2月3日(日)には、公益社団法人 認知症の人と家族の会 滋賀県支部 小宮俊昭様をお招きして「認知症の母を介護して感じる人生の豊かさ“忘れても心は生きてる認知症”」と題して講演会を菩提寺まちづくりセンターで10時より開催します。是非ご参加ください。

地域防災の取り組み

各区・自治会では「ふるさと防災チーム」が中心となって、災害時の対応や減災に向けた取り組みが進められています。その中核を担う人材として防災士の存在が注目されています。防災士は過去、市からの要請を受けて各区で育成に取り組んできました。

菩提寺まちづくり協議会では、その後も継続して防災士の育成が必要と判断し、昨年度より各区に防災士の資格取得を呼びかけ、講習会の申し込みを取りまとめました。その結果、平成29年度6名、平成30年度7名が防災士の資格を取得できました。

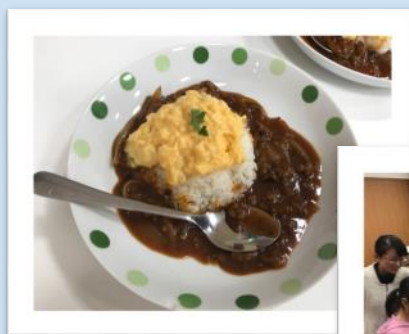
来年度には、菩提寺7区の防災士やふるさと防災チームがより効果的な活動ができるためのネットワークづくりに挑戦する予定です。

子どもたちの健全な成長を育む取り組み

平成28年10月より子ども食堂（名称：菩提寺「すすく食堂」）を月1回開設してきました。平成30年12月で第14回目の開催となりました。

今年度は滋賀の縁創造実践センターからの助成金に加えて、市からの助成も受けて「学習時間の設定」「工夫を凝らした食事の提供」「遊び・学ぶ体験学習の提供」に取り組みました。

12月22日(土)は、オムハヤシライスと手作りピクルス、食後



にはクリスマスケーキを提供。また3種類のクリスマスカードづくりに挑戦し

ました。

健康推進員を中心とした調理スタッフや湖南省ボランティアセンター登録グループのご協力でこれまで継続して運営することができました。子ども食堂の運営にご興味のある方は、スタッフとして是非ご協力ください。

子ども育成委員会の活動

ハリキリンピック

平成30年10月28日（日）菩提寺まちづくりフェスタ2018において、ハリキリンピックを開催したところ、約290名の子どもたちが元気に参加してくれました。

今年はゲームも入れ替え、大盛況のもとで終了できましたが、やはり一番の人気は、最後のおみやげのようでした。（*^-^*）



ハリキリンピックで楽しむ子ども達とお手伝いのボランティアの皆さん



愛のひと声あいさつ運動

平成30年度2学期において、両小学校校門付近であいさつ運動を実施致しました。

年々、元気にあいさつが出来る児童が増えてきたように思います。

保護者・教育関係・地域の方々に感謝しております。

また、元気な子どもたちの笑顔に、私たちが勇気付けられました。



校門で元気に挨拶

お知らせ

屋下がいの歌広場（菩提寺まちづくりセンター講座）

3月3日（日） 13：30～15：20

菩提寺まちづくりセンター・多目的ホール（入場無料）

皆さんと「楽団ワイワイ」メンバーと一緒に元気に唄いましょう！

湖南省防災会設立準備委員会

湖南省では地域防災力の強化と防災士のネットワーク構築を目的として（仮称）湖南省防災会を設立しようとしています。その会の設立にむけて、菩提寺7区より2名を設立準備委員として選出し、協議を進めていきます。湖南省防災会の設立後は、防災士のみでなく防災に意欲のある方々のメンバー加入を期待します。

まちづくりセンターからのお願い

- ・大きな発泡スチロールが捨てられています。必ず小さく砕いて回収BOXに入れて下さい。
- ・蛍光管（灯）の回収ルールを遵守願います。業務用の長い蛍光管は産業廃棄物として処理してください。
- ・まちづくりセンター周辺での犬の糞が散見されます。散歩時のマナーを守ってください。

まち協メンバー募集

まちづくり協議会・各委員会とも高齢化によるメンバー不足が問題となっています。できる事だけ・来れる日だけでも結構ですので、興味のある方の加入をお待ちしています。